

は し が き

令和6年は、2回の選挙が執行されました。まず、東京都知事選挙は、令和5年11月29日東京都選挙管理委員会において、パリオリンピックや都議会の定例会期間等を踏まえ、令和6年7月7日に投開票を行うことが決定されました。

併せて、板橋区としては平成19年以来17年ぶりとなる都議補欠選挙（便乗選挙）も同日に執行されました（最終的には都内9選挙区で実施）。

参議院議員選挙と並ぶ最長17日間の“七夕決戦”と称された都知事選挙には、過去最多の56人が立候補、ポスター掲示場（48区画）に49番目以降に届け出た候補者はクリアファイル方式で掲示するという“異例”の対応や立候補者と無関係なポスターが大量に貼られるという想定外の事態となりました。

7月に入り熱中症警戒アラートが連日発令され、投票日も36℃の猛暑日となる中、暑さ対策として当日投票所に導入したウォーターサーバーも水ボトルが足らなくなるなど、従事された皆様には猛暑の中ご苦労をおかけしました。

今回も新有権者向けバースデカードの発行や視覚障がい者の方も自署できる投票用紙筆記補助具の導入などに取り組みました。

投票率は、都知事選挙で58.64%と前回比5.14ポイント増、都議補欠選挙で57.80%と令和3年都議選挙比16.12ポイント増となりました。期日前投票では、都知事選挙で87,467人と前回比15.5%の大幅な増となりました。

年代別投票率も10歳代で前回は下回ったものの、20歳代以降は軒並み前回比で増となる結果でした。

次に、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査は、石破新総裁の9月30日の解散表明、首相就任26日後の投開票と戦後最短での執行となりました。

夏以降、俄かに風雲急を告げる事態となる中、準備は事前に行ってはいましたが日程が決まらなると開始できない事もあり、準備不足は否めませんでした。都知事選挙及び都議補選挙の執行残の流用や予備費充用、補正予算と3本立ての予算措置をはじめ、投開票場所の調整や人員確保は難航し、投票のお知らせの発送も10月15日の公示日に間に合わず苦情の対応に追われるなど、薄氷を踏む思いの中、全庁を挙げた応援もあり無事執行まで漕ぎつけることができました。

令和4年の区割り変更後初となった小選挙区（東京都第11区・第12区合計）では投票率で54.00%と前回比0.95ポイント減、期日前投票（同合計）は、88,823人と前回比8.9%減、年代別投票率（同合計）は、10歳代42.94%（前回比3.33ポイント減）、20歳代36.57%（前回比同率）、30歳代47.54%（前回比0.30ポイント増）で、以降は各年代で軒並み減という結果となりました。

各選挙を無事に執行できましたのも、ひとえに関係各位の皆様のご理解、ご協力によるものと深く感謝いたしております。

ここに「選挙の記録」としてまとめましたので、ご高覧いただきますとともに、今後とも一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

板橋区選挙管理委員会

ポスター掲示場

東京都知事選挙



東京都議会議員補欠選挙



候補者

立候補予定者説明会



立候補受付



期日前投票

板橋区役所



期日前投票



当日投票

第5投票所



当日投票



ウォーターサーバー



開票



開票



啓発

若年層啓発事業(巨大絵本を作ろう)



板橋区役所期日前投票所での展示

